



日本プライマリ・ケア連合学会
北海道ブロック支部 活動報告

発行人：支部長 木村 眞司

北海道ブロック支部事務局
(松前町立松前病院事務局)
TEL:0139-42-2515 FAX:0139-42-2516
e-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

ニュースレター No. 14 (2016. 9)

文責 北海道ブロック支部長 副支部長 小嶋 一 (手稲家庭医療クリニック) kojimah@gmail.com
北海道ブロック支部事務局アドレス hpca.jimukyoku@gmail.com

<お知らせ>

支部経費節減のため、北海道医師会・札幌市医師会にご協力いただき各種行事に場所を使わせて頂いております。関係各位に心から感謝申し上げます。

<今後の支部などの行事予定>

- 【平成 28 年】 9 月 23 日 (金) 午後～25 日 (日) 午前 第 3 回北海道地域医療オータムキャンプ in ニセコくっちゃん
- 10 月 15 日 (土) 午後 2 時 北海道ブロック支部幹事会 場所:TKP 駅前カンファレンスセンター
- 10 月 30 日 (日) 北海道医学大会プライマリ・ケア分科会 (兼北海道プライマリ・ケア研究会学術集会)
場所:北海道医師会館 *北海道プライマリ・ケア研究会 (長瀬清会長) と共催
- 11 月 26 日 (土) 北海道プライマリ・ケアフォーラム 場所:かでの 2・7 (札幌市中央区北 2 西 7)
- 【平成 29 年】 3 月 (詳細未定) 第 3 回北海道地域医療ウィンターキャンプ in 美唄 場所:美唄市内

<活動報告>

1. 幹部会を毎月一回スカイプ会議で行なっています (参加:支部長、副支部長 (小嶋、木佐、臺野、山田))。
2. 平成 28 年 5 月 28 日 (土) 北海道ブロック支部幹事会

【議題とコメント】

- ・ 定時総会議案について
 - 今期より手稲家庭医療クリニックの小嶋一医師が北大川畑秀伸医師に代わり副支部長に就任。
北洋銀行の振込用紙を準備したところ支部会費納入率が上がり合計 334 名が納入。
- ・ 平成 28 年度地方会の開催について
- ・ 平成 28 年度北海道プライマリ・ケアフォーラム開催について
- ・ サイトビジット開催について → 11 月下旬を予定
- ・ ポートフォリオ検討会について → 11 月下旬を予定
- ・ 北海道プライマリ・ケア研究会について
 - 北海道プライマリ・ケア研究会という歴史のある研究会が発展的解消と北海道ブロック支部との合併の方向で調整している。大きな行事として北海道プライマリ・ケア研究会の学術集会が北海道医学大会のプライマリ・ケア分科会を兼ねて開催されているので、来年度以降は北海道ブロック支部の活動として学術を含め開催を担っていく予定。
- ・ その他

3. 平成 28 年 7 月 2 日 (金) 13 時 30 分 ~ 18 時 10 分 北海道ブロック支部地方会

基調講演「これからの薬剤師の方向性はどうあるべきか ~ピンチかチャンスか: 2025 年を見据えて~」古田精一先生

- 2025 年を迎えるにあたり薬剤師にどのような役割が求められるか。それが診療報酬や政策にどのように反映されているのか。
実際の薬剤師の現場はどのように動くべきなのか。現実の薬剤師の業務と今後のあり方を、紙面ではお伝えできないほどの裏事情を含めた臨場感のあるお話で進めていただいた。

学術発表: 口演発表・ポスター発表

- 口演が合計 10 題。救急隊との連携、事例検討、認知症高齢者の意思決定支援、禁煙外来 Clinical Audit、インソールと重心動揺、英語による医学教育など大変バラエティに富んだプライマリ・ケア連合学会にふさわしい内容だった。

ワークショップ 1「実践してみよう! 在宅移行支援!」照井 レナ先生

- すでに実践している講師による実践的なワークショップ。参加者によるディスカッションは盛り上がっていた。

ワークショップ 2「外来でよく見る運動器疾患の実践的アプローチ」森 利光先生

- スキル系ハンズオンは大変好評で、今後もこのような形式を増やしていきたい。

シンポジウム「在宅医療における薬と多職種連携」山田康介先生、福地隆康先生、森昭恵先生、若狭敬志先生

- 20 名余りの参加だが、仮想症例を与えられたチームが一つの人格として動くことを求められたワークショップであった。

日常診療 Update「浮腫と心不全」中島徹先生「うつ病」樋口智也先生「過活動性膀胱と尿失禁」加藤利佳先生「更年期障害」小嶋一先生

- 昨年に引き続き、参加者からのアンケートで希望の多い項目から 4 項目を選び、基本的なことから最新のエビデンス、誰もが悩むポイントなどをコンパクトにまとめてレクチャーとした。参加者はベテラン医師が多く、質問も経験に基づく鋭いものが多かった。

ビブリオバトル → 今年は 30 名ほどの参加者。優勝は・・・?

第4回北海道プライマリ・ケア フォーラム

～ 一歩踏み出す ～

2016年11月26日(土) 13:00～18:40

北海道立道民活動センター かでの2.7

北海道札幌市中央区北2条西7丁目

【対象】 医療系学生・若手医師・スタッフ・各種医療専門職

学生・初期研修医 無料 支部会員(非支部会員):2,000円(4,000円) ※託児所設営予定

基調講演

宮崎大学医学部
地域医療・総合診療医学講座

吉村 学 教授

1991年 宮崎医科大学卒業
2003年より17年間岐阜県揖斐郡の診療所で
勤務、多職種間連携教育(ごちゃませIPE)など
オリジナルな教育施策を実施
2015年に出身大学の宮崎大学医学部教授
(地域医療・総合診療医学講座)へと転身し、
臨床、教育、研究と第一線で活躍

企画詳細

①学生企画



《総合診療って何?～はじめの一歩～》

「総合診療医の役割って?」「他科とどう違うの?」という方も、「もっと詳しく知りたい!」という方も、あなたの疑問に答える学生の学生による学生のための企画です!

講師 更別村国民健康保健診療所 川合晴朗先生
勤医協中央病院総合診療科 菅藤賢治先生

②

《多彩なセッティングで縦横無尽に活躍する総合診療医のための臨床推論ワークショップ》

救急・内科・往診それぞれの疾患頻度と利用可能な検査、OSCEレベルの診察を組み合わせて実践的な発熱患者の診断ルールを作ります。

講師 勤医協札幌病院 佐藤健太先生

③

《在宅看取りへ一歩踏み出す》

在宅看取りに必要な4つの要素について学び、一歩踏み出しましょう!

講師 静明館診療所 大友宣先生

④

《患者中心の医療の方法・実践編》

学生から医師まで現場で活用できる「患者中心の医療の方法」を一緒に学びましょう!

講師 北星ファミリークリニック 中島徹先生

⑤特別企画

《災害医療～わたしたちができることとは～》

急性期～復興期までタイミング毎に、プライマリケアに関わる人がどう関わられるのか、実際に経験した方々にお話しいただきます。

講師 未定

⑥特別企画

《総合診療医キャリアプラン ～様々な軌跡～》

いつどのようにして総合診療医を目指したのか、各先生方のキャリアの軌跡をシンポジウムやカフェ形式で語ってまいります。

講師 未定

タイムテーブル

13:00～13:20	開会式
13:30～14:50	ワークショップ ① ② ③
14:50～15:20	休憩 ※初期研修病院紹介
15:20～16:40	ワークショップ ④ ⑤ ⑥
17:00～18:20	基調講演
18:20～18:40	閉会式

閉会後会場を移動して懇親会を行います 会費:5,000円
懇親会会場:ホテル札幌ガーデンパレス

最新情報/事前参加申し込みは Facebook
or 支部会ページ (<http://jpca-hokkaido.jp/forum2016/>)



【主催】 日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部 北海道
【共催】 日本プライマリ・ケア連合学会学生研修医部北海道支部

illustration: Vector Open Stock